



# 忍路

## 教育目標

かしこく  
やさしく  
たくましく

令和6年3月22日

忍路中央小学校

忍路中学校



忍路小中 HP <https://www.otaru.ed.jp/osyoro-psjh/>

## 1年間ありがとうございました

校長 村中 寿幸

雪解けがすすみ、裏山の地面が見えた場所には無数のシカの足跡が見られるようになりました。動物たちが待ちに待った春、わずかに芽吹く草を食べることが喜びなのでしょう。

さて、15日に忍路中学校、19日に忍路中央小学校の第77回の卒業証書授与式を挙行しました。中学生4名、小学生5名が卒業しました。小学生の5名は、小中併置校の良さの1つでもある、同じ校舎、馴染みのある先生方との学校生活がスタートします。中1ギャップと言われるものの不安が少ない環境で、学校生活を楽しむことを願っています。また、中学校を卒業した4名はそれぞれ自分が選んだ道を歩むこととなります。その道は、予測が困難で変化が激しく、とても曲がりくねっているようです。そこで、中学校を卒業し、新しい環境や未知の世界に踏み出すときに、勇気を持ってチャレンジできるように、私の大好きな言葉を贈ります。

### 『人生最大のリスクは、リスクを冒さないことだ。』

この言葉は、Facebook（現 Meta 社）の創業者であるマーク・ザッカーバーグ氏の言葉です。リスクを恐れて何もしなければ、せっかくのチャンスまで失ってしまいます。成功を引き寄せるためにはリスクを恐れずチャレンジすることが大事だという言葉です。

### 『人生は「見たり」「聞いたり」「試したり」の三つの知恵でまとまっているが、一番大切なのは「試したり」だ。』

この言葉は、自動車やバイクなどを手掛ける本田技研工業（ホンダ）の創業者である本田宗一郎氏の言葉です。好奇心、勤勉さ、研究熱心さ、そして失敗を恐れずチャレンジする姿勢が大切だという言葉です。

令和5年度も、本日をもって教育活動が終了いたしました。昨年の5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症相当となり、集合しての活動や集団での移動が可能になるなど様々な規制が緩和され、教育活動もコロナ禍以前に戻りつつある1年でした。小学生、中学生ともにこの1年間で多くのことを経験し、心身ともに成長し、その姿に職員一同うれしく思います。本校の教育活動にご協力いただきました地域の皆様、そして多くの場面で支えていただいた保護者の皆様、1年間本当にありがとうございました。

## 忍路中央小学校・忍路中学校 入学式について

令和6年度忍路中央小学校・忍路中学校入学式は以下の内容で実施します。来賓や保護者、地域の方をお招きしての式となりますので、ご承知おきください。

日時 令和6年4月8日（月） 開式は10:30

会場 小樽市立忍路小中学校体育館

## 小・中学校 卒業証書授与式

3月15日(金)には忍路中学校、19日(火)には忍路中央小学校の卒業証書授与式を挙りました。

中学校の卒業式では4名の卒業生が担任の先導で会場に入場し、卒業証書を受け取りました。在校生代表の送辞、卒業生代表の答辞も素晴らしい内容で、行事はもちろん何気ない日常が大切な思い出となったことなどが語られました。

卒業式後には教室で同窓会入会式をおこない、福岡同窓会長より記念品の目録が紹介され、同窓会の役割や、激励の言葉がありました。

小学校の卒業式では卒業証書を受け取った卒業生が一人ずつ中学校生活や将来の夢の実現に向けての決意を立派に述べていました。卒業生、在校生の呼びかけを通じて、それぞれの思い出を共有することができました。

卒業生は小中学生と教職員に見守られる中、学び舎を巣立っていきました。



## 小学校 6年生を送る会

3月1日(金)、小学校で6年生を送る会を実施しました。1~5年生が皆で楽しめるゲームや挨拶などを企画し、これまで準備してきました。ゲームではドッジボールや尻尾取りなどグループに分かれて活動し、また低学年は6年生との思い出を呼びかけ形式で発表しました。

6年生からは在校生に向けたプレゼントを渡しました。6年生からは在校生に向けたプレゼントと、メッセージを贈り、お互いに感謝の気持ちを伝え合い、楽しい時間を過ごすことができました。



## 忍路小・中学校 転出者について

1年間、小中併置校を支えてくださった教職員の転出についてお知らせいたします。新任地や今後のご活躍をご祈念いたします。

### <村中 寿幸 校長 高島小学校へ>

管内唯一の小中併置校の校長として、他校では得がたい経験をたくさんしました。地域、保護者の皆様の本校の教育活動へのご理解、ご協力本当にありがとうございました。小学校150周年記念を地域、保護者の皆様と一緒に祝いすることができなくなってしまったことが残念です。新任地でも、忍路中学校、忍路中央小学校で学んだことを礎に、小樽の子どもたちのためにがんばります。

### <小田原 宏 先生 御勇退>

この度、41年間の教職を終え退職することとなりました。忍路中央小学校は子どもどうしが、1年生から6年生までとても仲の良い学校です。そんな中でとても充実した1年を過ごさせていただきありがとうございました。これからも子ども達とPTAの皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

### <合川 吾一 先生 望洋台中学校へ>

忍路中学校に赴任して、あっという間に7年間が過ぎました。明るく元気で、何事にも前向きな子どもたちに囲まれて、楽しく毎日を送ることができました。保護者・地域・教職員の皆さんからいただいたご支援に感謝申し上げます。

### <尾鷲 彰一 先生 向陽中学校へ>

忍路小中での一番の思い出は、人生初となる小学生の授業を担当できたことです。孫並みに年齢差のある忍路っ子達は勤が鋭く、ポケとツッコミ両方こなすので毎日面白く過ごせました。どうもありがとうございました!

## 中学校 性の教室について

3月6日(水)、中学校では小樽市子ども未来部より講師をお招きし、「性の教室」を実施しました。子どもたちは ①思春期の心と体 ②性感染症予防について ③多様な性について それぞれ学習しました。中学校1年生では心と体の成長について保健体育科で学習していますが、授業よりも一歩進んだ学習内容について、真剣に聞き、また考えていたようです。

特に多様な性について「自分らしく生きることが大切である」という言葉が、これからの学校生活や進路を決めていく中で大事な考え方になると思います。

